

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年4月4日(月) 11:00～11:45

場 所：事務局第一会議室(小白川キャンパス事務局棟3階)

### 発表事項

1. 山形大学第3期中期目標・中期計画について
2. 山形大学行動計画 Annual Plan 2016 について
3. トムソン・ロイター-Highly Cited Researchers に本学城戸教授が選出されました

### お知らせ

1. 山形大学入学式の取材に対するお願い
2. 山形大学Webサイトをリニューアルしました
3. 人文学部附属ナスカ研究所講演会「コトシュからナスカへ」を開催します
4. 山大出版会から新刊出来！！『森のひみつ しゅったい 木々のささやきーふつうの人が森に行く日ー』
5. 山大生が作った山形大学を知るためのパンフレット『山形大学って何だろう？2016』が完成しました

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成28年4月19日(火)11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

## 学長定例記者会見（4月4日）発表者

### ○新役員の紹介

くぼた いさお  
久保田 功 理事・副学長（研究・評価・病院担当）

#### 1. 第3期中期目標・中期計画について

こやま きよひと  
小山 清人 学長

#### 2. 山形大学行動計画 Annual Plan 2016 について

こやま きよひと  
小山 清人 学長

#### 3. トムソン・ロイター Highly Cited Researchers に本学城戸教授が選出されました

こやま きよひと  
小山 清人 学長

学術研究院 きど じゅんじ  
城戸 淳二 教授

トムソン・ロイター たなはし よしこ  
棚橋 佳子 取締役 様

みわ さやか  
三輪 峻矢佳 アカウントマネージャー 様

平成28年4月4日  
山形大学

## 第3期中期目標・中期計画について

文部科学大臣から示された第3期（平成28～33年度の6年間）の国立大学法人山形大学の中期目標に基づき、本学が策定した中期計画が認可されました。

### 【参考】国立大学法人の中期目標・中期計画

国立大学法人は、平成16年度以降国立大学法人法により、文部科学大臣が定める6年間の中期目標に基づき、中期計画及び年度計画を策定することが義務付けられています。

○中期目標とは、国立大学法人が6年間において達成すべき業務運営に関する目標であり、文部科学大臣が定め、各国立大学法人に提示し、公表しているものです。（国立大学法人法第30条）

○中期計画とは、国立大学法人が中期目標を達成するために策定した6年間の計画であり、文部科学大臣の認可を受けることとなっています。（国立大学法人法第31条）

※本紙は本学ホームページにも掲載しています

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/university/middle/third/>

（お問合せ先）  
学術研究院（企画評価担当）  
教授 浅野 茂  
電話 023-628-4189

## 3つの使命

地域  
創生

次世代  
形成

多文化  
共生

## 5つの基本理念

学生教育を中心とする大学創り  
豊かな人間性と高い専門性の育成  
「知」の創造  
地域創生及び国際社会との連携  
不断の自己改革

## 第3期中期目標・中期計画期間のビジョン

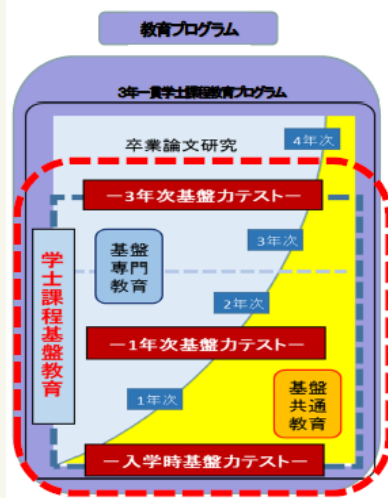
地域活性化の中核になりつつ、特定の分野で世界ないし全国を牽引する教育研究拠点となるため、

- 実践力と人間力を備えた人材を育成
- 地域の課題を解決し世界をリードする研究を推進
- 産業界等と連携して地域変革を牽引
- 学生・教職員・地域の国際化を推進
- 経営資源の戦略的活用による大学の特色を強化

## ポイント

- ・ 32の中期目標、71の中期計画を策定し、52の中期計画（全体の73%）に達成年度や目標値を明記
- ・ 3つのユニットを構成する6つの中期目標、7つの中期計画は「戦略性が高く意欲的な目標・計画」に認定
  - ①基盤教育改革と質保証の強化による実践力と人間力を備えた人材の育成
  - ②YU-COEを通じた支援・育成による世界をリードする研究の推進
  - ③先端的な研究成果の社会実装と世界最高水準医療の提供による地域変革の牽引
- ・ 昨今の国立大学改革への要請、社会動向等を踏まえ、平成29年度までに学部及び大学院の教育研究組織を見直し、機能を強化する

# 特徴的な中期計画



- ・ 基盤教育と専門教育を連動させた3年一貫の学士課程基盤教育プログラムを構築

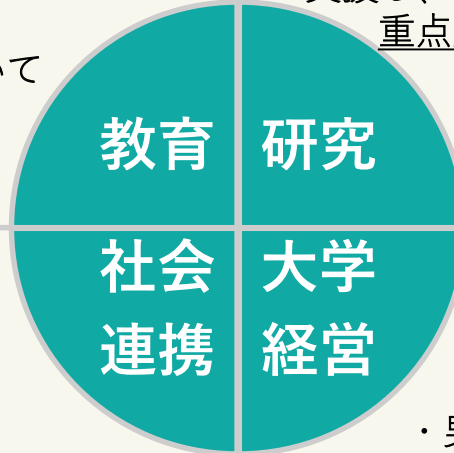
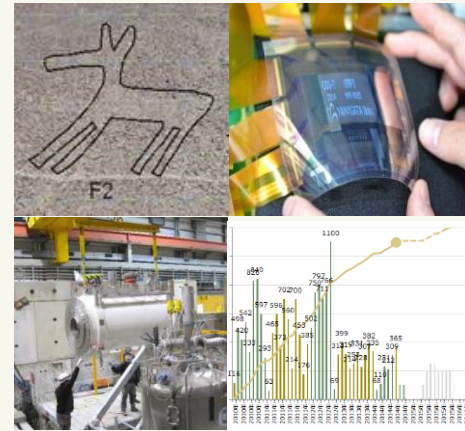
- ・ 基盤力テストを開発し、実施結果及びIRデータ等を活用して学修成果を可視化

- ・ 大学院において

キャリア形成及び実践的な語学力を育成する基盤共通科目を8科目開講

- ・ 世界をリードする研究拠点（ナスカの地上絵、有機材料、総合スピン科学、ゲノムコホート研究）を中心に年間600編以上の論文を公表

- ・ 15の研究拠点を育成・支援し、2件程度の重点支援を通じて世界的な研究拠点を育成



- ・ 地域企業等との共同研究100件以上を推進

- ・ 学部卒業生のうち地域の企業等への

就職比率を10%増加



- ・ 研究成果を活かしたベンチャー企業立ち上げ3件以上を支援

- ・ 平成31年度までに次世代型医療用重粒子線照射装置を整備



- ・ 競争的外部資金及び寄附金獲得額を10%増加

- ・ 男女共同参画の取組みを積極的に推進し、女性研究者比率17%以上、女性管理職比率20%を達成



- ・ IR機能を活用して各種情報を可視化し、データに基づく大学経営を推進



平成28年4月4日  
山形大学

## 山形大学行動計画「Annual Plan 2016」について

2016年度（平成28年度）の行動計画として「Annual Plan 2016」を策定しましたので公表します。

平成28年度は、国立大学法人として第3期中期目標・計画の初年度であることから、2015年度（平成27年度）までの「Annual plan」を大きく見直すことにしました。

具体的には、平成28年度から動き出す第3期中期目標・計画がより具体性を持ち、達成すべき数値、達成すべき時期の明示や、達成度の評価が可能となる具体的な目標・計画の設定となっていることから、アニュアルプランの目標とする項目を、第3期中期目標・計画の進捗状況や達成状況などを踏まえ、当該年度に特に重点的に実施する項目で、年度計画を上回る成果や、高い到達点にチャレンジするものを基本とし、項目を精選しました。また、項目数を見直したことで、全教職員が当該年度の「Annual plan」の項目を日常的に意識し、業務に取り組むこともねらいとしています。

- ・ Annual plan 2015 69項目 → Annual plan 2016 23項目
- ・ 17,000部を作成 全教職員と全学生に配付するとともに、入学式で新入生の保護者への配付を予定しています。

（お問合せ先）  
企画部企画課  
Tel. 023-628-4193  
Mail [kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

平成28年4月4日  
山形大学

## トムソン・ロイター Highly Cited Researchers に 本学 城戸淳二教授が選出されました。

世界的な情報サービス企業であるトムソン・ロイター社は、論文の引用動向分析から、世界的に影響力の高い科学者として、 Highly Cited Researchers (HCR: 高被引用論文著者) を選出し、Material Science (材料科学) 分野で本学の城戸淳二教授が選ばれました。

### ◆ Highly Cited Researchers (HCR: 高被引用論文著者)

トムソン・ロイター社が科学研究の各分野において、高い影響力を持つ科学者を論文の引用動向から分析したもので、今回は、全世界では約3000名、うち日本の研究者は約80名選出されました。

今回のHCRは、過去11年(2003年~2013年)のトムソン・ロイター論文・引用データから、各研究分野においてトップ1%の被引用数を持つ、インパクトの非常に高い論文を一定数以上発表されている方が選ばれており、城戸教授は、前回(平成26年6月)のHCRに引き続いて2回目の選出です。

### < 参考 >

- ▶ Highly Cited Researchersデータベース: <http://highlycited.com/>
- ▶ Highly Cited Researchersについて、選出方法など  
<http://highlycited.com/info.htm#details>
- ▶ トムソン・ロイター社プレスリリース  
<http://ip-science.thomsonreuters.jp/press/release/2016/Scientific-Minds-2015/>

(お問合せ先)  
学術研究院(企画評価担当)  
教授 浅野 茂  
電話 023-628-4189

平成28年4月4日  
山形大学

## 1. 山形大学入学式の取材に対するお願い

以下の内容で行いますので、取材方、よろしく申し上げます。

日時：4月5日（火）10：30開式

会場：山形県体育館（山形市霞城町1-2）

詳細は別紙通知をご覧ください。

## 2. 山形大学Webサイトをリニューアルしました

本学のwebサイトを4年ぶりに全面リニューアルしました（4/1公開）。

詳細は別紙通知をご覧ください。

## 3. 人文学部附属ナスカ研究所講演会「コトシュからナスカへ」を開催します

日時：4月15日（金）16：30～

会場：人文学部301講義室

講師：藤井龍彦氏 国立民族学博物館・名誉教授

詳細は別紙チラシをご覧ください。

## 4. 山大出版会から新刊出来！！『森のひみつ 木々のささやき—ふつうの人が森に行く日』

「もっと気楽に、ふつうに、森へでかけてほしい」

本学の小山浩正教授と平智秋教授が、森をもっと身近に感じてもらうために編んだ森の本です。

詳細は別紙通知をご覧ください。

## 5. 山大生が作った山形大学を知るためのパンフレット『山形大学って何だろう？2016』が完成しました

山形大学の学生が学生目線で作成したパンフレットが完成しました。4月5日（火）の入学式でも配布するとともに、高校等にも配布し、本学の魅力を伝えていきます。

詳細は別紙通知をご覧ください。

以上



平成28年4月4日  
山形大学

## 山形大学入学式の取材に対するお願い

平成28年度山形大学入学式を挙行いたします。

式当日の取材に際しては、壇上での撮影は差し支えありませんが、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

また、学長告辞については、当日に配布いたしますが式終了後に公表願います。

なお、各附属学校の入学（園）式につきましても、併せてお知らせいたします。

### ◆平成28年度山形大学入学式について

日時：平成28年4月5日（火）10：30開式

会場：山形県体育館（山形市）

式次第：

1. 開式のことば
2. 山形大学大学歌
3. 学長告辞
4. 入学生宣誓
5. 学部長紹介
6. 閉式のことば

※上記の式典終了後、「YU Do Best奨学生授与」と学生サークルによる花笠踊りの披露等の歓迎セレモニーを予定しております。

### ◆平成28年度附属学校入学（園）式について

#### ●附属幼稚園

日時：平成28年4月12日（火）10：00開式

会場：附属幼稚園遊戯室

#### ●附属小学校

日時：平成28年4月8日（金）9：30開式

会場：附属小学校体育館

#### ●附属中学校

日時：平成28年4月8日（金）13：30開式

会場：附属中学校体育館

#### ●附属特別支援学校

日時：平成28年4月11日（月）10：00開式

会場：附属特別支援学校体育館

（お問い合わせ）

総務部総務課総務担当

（TEL）023-628-4006

平成28年4月4日  
山形大学

## 山形大学webサイトをリニューアルしました

山形大学のwebサイトを4年ぶりに全面リニューアルしました。ユーザー目線に立った内容に再構築するとともに、「中・高校生向けの課題探求型授業のための相談窓口」、「注目の研究」のページを新設。スマートフォンやタブレットにも対応しています。

### 1. ユーザー目線に立った内容に再構築

評価の高い他大学のサイトを分析し、知りたい情報に素早くアクセスできるよう、訪問者別のメニューやコンテンツの整理を行い、ユーザー目線に立った内容に再構築しました。



### 2. 「中・高校生向け課題探求型授業の相談窓口



中学生・高校生の課題探求型授業のための相談窓口を設けました。疑問に感じたことや、興味をもったこと、さらに探求したいことなど、中学生・高校生の質問に山形大学の各分野の研究者が分かりやすくお答えします。中学校、高校の先生方からの問い合わせ、相談も大歓迎です。

### 3. 「注目の研究」

総合大学として地域に貢献し、未来を創る「注目の研究」を、わかりやすく丁寧に紹介します。15の研究分野に分類し、関連リンクとプレスリリースも合わせて紹介します。内容は随時更新しますので、報道機関の皆さまのほか、企業の皆さま、地方公共団体の皆さま、是非、ご注目ください。



### 4. スマートフォン対応

リニューアルしたwebサイトはレスポンスデザインとなっており、スマートフォンやタブレットでご覧いただく際は自動で表示画面が最適化されます。これによって、本学の情報が高校生や在学生をはじめ多くの方に迅速かつ機動的にお届けすることが可能になりました。



### 5. 英語版ページもリニューアル

日本語版のリニューアルに併せて英語版のページもデザインを一新しました。今後、中国語ほか多言語のページの開設を検討します。



(お問い合わせ)  
総務部総務課広報室  
Tel. 023-628-4008  
Mail: koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学人文学部附属ナスカ研究所講演会

# コトシユからナスカへ —日本のアンデス研究の軌跡—

講師

藤井 龍彦 氏

国立民族学博物館・名誉教授

□ 講師略歴

- 2000 国立民族学博物館先端民族学研究部教授
- 2002 国立民族学博物館民族学研究開発センター教授
- 2003 国立民族学博物館先端民族学研究部教授
- 2004 総合研究大学院大学名誉教授
- 2004 国立民族学博物館名誉教授

□ 主な編著書等

- 2003 L. Millones, H. Tomoeda & T. Fujii (eds.) Tradicion popular: Arte y religion de los pueblos del norte del Peru, Senri Ethnological Reports No. 43, Osaka: National Museum of Ethnology, 2003.11.28.
- 2002 S.Sugita, J.K-Hong, T. Fujii, J. Reeve & G. Gay (eds.) Global Digital Museum (GDM) for Museum Education on the Internet. Senri Ethnological Report 28. 2002.
- 2000 Desde afuera y desde adentro: Ensayos de etnografia e historia del Cuzco y Apurimac. Senri Ethnological Reports No.18. Edited by L. Millones, H. Tomoeda & T. Fujii
- 1998 『アンデス・アマゾン・大地の力』(監修)求龍堂
- 1992 『アメリカ大陸の文様』小学館(加藤泰建、小谷凱旋、八杉佳穂との共編著)

2016年4月15日(金) 16時30分

会場 人文学部301講義室

主催 山形大学人文学部附属ナスカ研究所

入場無料・事前申込不要

平成28年4月4日  
山形大学

山形大学人文学部附属ナスカ研究所主催講演会  
コトシュからナスカへー日本のアンデス研究の軌跡ー  
藤井龍彦（国立民族学博物館・名誉教授）

山形大学のナスカ研究のルーツを探る  
日本のアンデス研究の半世紀

日時：平成28年4月15日（金）16時30分～17時30分  
会場：人文学部301講義室

山形大学人文学部附属ナスカ研究所主催の講演会「コトシュからナスカへー日本のアンデス研究の軌跡ー」（国立民族学博物館名誉教授・藤井龍彦先生）を、平成28年4月15日（金）16時30分～17時30分に人文学部301講義室で開催します。講師の藤井龍彦先生は、1960年代から南米アンデス地域で考古学・民族学の現地調査を実施されてこられた著名な研究者です。

藤井先生がご自身の研究のために収集されてきた専門書（約2000冊）を、この度、山形大学人文学部附属ナスカ研究所に対して寄贈されることになりました。今回の講演会は、藤井先生からの図書寄贈を記念して開催されます。

講演会のタイトルにある「コトシュ」とは、ペルーを代表する考古遺跡の一つです。藤井先生も参加された日本のアンデス調査団は、半世紀前にコトシュ遺跡を発掘して、有名な交差する手の神殿を発見しました。この調査によって、紀元前2500年にコトシュ遺跡ですでに神殿が建設され、土器が製作される以前から、神殿活動が行われていたことが判明しました。神殿が土器に先行するというのは、従来の定説に反していたため、当時の研究者にとって衝撃的な調査結果でした。

その後、日本調査団はラ・パンパ、ワカロマ、クントゥル・ワシ、パコパンパなどの神殿遺跡で調査を実施してきました。このうちクントゥル・ワシ遺跡の調査に、山形大学ナスカ調査団のメンバー（考古班）は全員参加しています。ナスカ調査では、コトシュ遺跡以来の調査手法（長期調査と精緻な遺物分析）を積極的に採用しているため、コトシュ遺跡は山形大学ナスカ調査団のルーツと言える存在なのです。

（お問合せ先）

学術研究院 教授（人文学部担当）

坂井 正人

電話 023-628-4470

sakai@human.kj.yamagata-u.ac.jp

平成 28 年 4 月 4 日  
山 形 大 学

『森のひみつ 木々のささやき—ふつうの人が森に行く日—』  
小山浩正・平 智編（定価1,250円＋税）  
山大出版会から新刊出来！！

ゆる～い森歩き、はじめてみませんか？

「もっと気楽に、ふつうに、森へでかけてほしい」

山形大学農学部的小山浩正教授と平 智教授が、森をもっと身近に感じてもらうために編んだ森の本です。

「なぜ、今年のブナは実がならないの？」

「紅葉はなぜ赤い？」など、

森のしくみや不思議を、独自の視点でわかりやすく解説しました。

さらに、小山教授を中心に、農学部の森林科学や畜産学、天然物有機化学や人間・植物関係学など、多数のスタッフが参画して進めた文部科学省特別プロジェクト「新・里山生態系管理システムの構築—利用しながら保全する生物多様性—」（研究期間：2011～2013年）の成果についても紹介しています。

本を読み終えたあなたは、なんだか森へ行きたくなること間違いなし！



## [主な内容]

- 荘内日報連載の「森の時間～山大農学部からみなさんへ～」40回分を再編
- 「つるおか森の保育研究会」など、鶴岡市のユニークな取り組みを紹介
- 森のソムリエとの対談や、小山教授の書き下ろしサイエンスも収録

**A5判 144頁**  
**本体価格 1,250円**

＜販売購入に関するお問い合わせ＞

山形大学出版会

TEL 023-677-1182

＜書籍内容に関する問合せ先＞

学術研究院・教授 平 智

TEL 0235-28-2829

# ゆる～い森歩き、 はじめてみませんか？

「もっと気楽に、ふつうに、  
森へでかけて欲しい」

山形大学農学部 小山教授と平教授が、  
森を身近に感じてもらうために綴った森の本。

「なぜ、今年のブナは実がならないの？」

「紅葉はなぜ赤い？」など、

森のしくみや不思議を、独自の視点でわかりやすく解説。

本を読み終えたアナタは、

なんだか森へ行きたくなること間違いなし！



## 森のひみつ 木々のささやき

—ふつうの人が森へ行く日—

小山浩正・平智 編

体裁／A5判 144頁

定価／本体1,250円+税



小山浩正・平智 編

山形大学出版会

—ふつうの人が森へ行く日—

読めば、  
きっと森に  
行きたくなる！

- 庄内日報連載「森の時間～山形大学農学部からみなさまへ～」40回分を再編  
● 「つるおか森の時間」「つるおか森の保育研究会」など、鶴岡市のユニークな取組みを紹介  
● 森のソムリエとの座談会や、小山教授の書き下ろしサイエンスも収録

発行  
山形大学出版会 〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12  
TEL023-677-1182 FAX023-677-1144

取扱書店	発売所名	山形大学出版会	山形県山形市小白川町1丁目4-12 TEL023(677)1182
	森のひみつ 木々のささやき —ふつうの人が森へ行く日— ISBN978-4-903966-26-7 C0061 ¥01250E		定価 本体1,250円+税 注文数

月  
日

冊

平成28年4月4日  
山形大学

## 山大生が作った山形大学を知るためのパンフレット 『山形大学って何だろう？ 2016』が完成しました

基盤教育科目の体験型・学生主体型授業「山形大学って何だろう？」の受講生が、山形大学の授業・課外活動・イベント・卒業生などを自ら取材し、まとめたパンフレット『山形大学って何だろう？ 2016』が完成しました。

### ◆概要

平成27年度前期に開講された基盤教育科目「山形大学って何だろう？」は、学生自身が山形大学の魅力を発掘し、プレゼンテーションとパンフレット作成という二つの方法で外部に発信するという体験型授業で、平成25年度から実施しています。

担当の山本陽史教授（基盤教育担当）は、プロデューサー・コーディネーター・アドバイザーの立場に徹し、受講生がリサーチャー・プレゼンター・エディターを担うという学生主体型授業です。

今回完成したパンフレットは、受講生（全員1年生、人文学部1名、農学部5名）が山形大学の授業・課外活動・イベント・卒業生（今回は村上龍男元加茂水族館前館長）などを自ら取材してまとめたもので、大学の公式パンフレットとはひと味違う切り口で、学生ならではの視点で山形大学の魅力を発掘しています。

### ◆今後の予定

このパンフレットは本年度の新入生全員に4月5日の入学式で配付し、これから始まる学生生活への意欲を高めてもらうとともに、高校等への広報にも有効活用し、本学の魅力を発信していきます。

また、今年度の1年生に対しても同内容の授業を開講し、来年の新入生のためのパンフレットを製作する予定です。

### (お問い合わせ)

学術研究院 教授 山本陽史（基盤教育担当）

電話 023-628-4659

電子メール yamaharu@yz.yamagata-u.ac.jp